

見逃し低減・検査精度を劇的に改善するための

周辺視目視検査法による 外観検査の上手な進め方

会場 / WEB 受講

WEB受講の場合
アーカイブ配信付き
(7日間視聴可能)

★日時：2026年3月2日（月）10:00～16:00

★会場：TH企画セミナールームA

都営浅草線・三田線：三田駅 徒歩3分（A9出口）

JR町田駅：徒歩7分（三田口）

★受講料：1名 49,500円（消費税込）

同一セミナー同一企業同時複数人数申込みの場合 1名44,000円

★受講資料：製本テキスト（受講料に含む）

※別途テキストの送付先1件につき、配送料1,210円（内税）

ベテラン検査員が無意識に使っている視覚メカニズムを科学的に解き明かした周辺視目視検査法を体系的に解説。照明・姿勢・器材配置など作業条件の改善から、短期間で検査精度を安定させる育成方法まで、現場で即実践できるノウハウを実例とともに学びます。
見逃し低減と検査効率向上を同時に実現できる実践セミナー！！

【講師の言葉】 従来検査職場は検査員の経験と感に頼った職種であり半ば聖域化されていましたが、それは一般的に目視検査が集中力に頼った不良箇所の指摘と思い込んでおりました。しかし、そんな作業は1時間と持たないことは考えただけでも容易にわかることです。

一方、現実的にベテラン検査員は1日中検査をして優れた抽出能力を持続しています。これを集中力の持続と誤った考え方をしてきたため、検査の効率化の遅れを招き、検査員の習熟が年単位に達するという職場にしていました。これを、大脳視覚システムまで機能展開することで、より楽な検査方法を確立し2～3週間で十分ベテランと同じ能力に習熟する訓練方法を構築しました。

従来の検査では「良く見る」ことが指導されていましたが、機能分析の結果、ベテラン検査員は周辺視、瞬間視、衝撃性眼球運動という視覚システムを活用していることがわかりました。これらの前提条件とリズムによってベテランと同等かそれ以上（生産性は倍）になり、さらに光源の種類や強さを最適化することで検査での見逃しが大幅に削減できます。

本セミナーでは、この「周辺視目視検査法」を理解していただけるように解説します。また、検査法以前の問題（照明・姿勢・器材の配置等の作業条件）に気付かず検査をしているため、見逃しが日常的に発生し、悩んでいるという状況が非常に多いのが現状です。それを改善するにはどうしたらいいか、という点についても、実例を交えて触れたいと思います。日ごろ検査での見逃しや長期間かかる検査員の育成でお悩みの指導者や管理者、マネジメントされている方々に聞いていただきたい構成となっています。

【受講形式】 会場/WEB選択可 ※WEB受講の場合のみ、アーカイブ配信（7日間視聴可能）。

【予備知識】 企業での品質管理業務または目視検査業務の経験

【受講対象】 特に指定なし、コンサルタントの方も可

【習得知識】 1) 科学的な周辺視目視検査法の理解 2) 見逃し原因・対策 3) 導入ノウハウ 4) 検査作業条件の改善ノウハウ

【講師】 周辺視目視検査研究所 代表 佐々木 章雄 先生

日本IBMにてIEの一環として周辺視目視検査法を発見、日立GSTを経て現在に至る

I) 周辺視目視検査法の特徴

- 1) 従来の官能検査の特徴と問題点
- 2) 大脳視覚システムの機能と限界
- 3) 周辺視目視検査への変遷点
 - a) 焦点視力から周辺視力へ
 - b) 集中視から瞬間視へ
 - c) 滑動性眼球運動から衝撃性眼球運動へ
 - d) 欠点探しから良品の確認へ

II) 導入方法

- 1) 原理の正しい理解
この検査方法は、大脳視覚システムの疲労を削減する
- 2) 限度見本の作成
「視覚」記憶の作りこみのために現物で訓練をする
- 3) スムースなハンドリング
1日中作業をすることを考慮したリズムカルな動作の構築
- 4) 正しい作業姿勢
局所疲労の削減のために必要な作業台と椅子の関係
- 5) 導入時の特徴
リズムが出来ていないとき特有の現象など

III) 見逃し原因に多い検査対象物と光源の関係

- 1) 明るければ見やすいかどうか
照明の明るさ（Lux）より目に届いた時の明るさが大事
- 2) 検査用途ごとの光源の種類と適用方法
平行光と拡散光の使い分けで眼精疲労は大きく違う
ビームライトによる透過検査の見逃しの理由
- 3) 単純な見逃しに多い「明順応」と「暗順応」
「明順応」と「暗順応」とはどんな現象か
危険な状況である「馴化」とはどんな現象か

IV) 事例紹介

タイのメーカーで展開した時の事例

質疑・応答

【受講者の声】 ・外観検査を行うにあたり周辺視目視検査法がどのように関わってくるのか知りたかったがとても参考になりました。
・新たな知見を多く得ることができた。視覚方法の変更・検査方法の違いなど理解することができた。
・リズムの大切さがよくわかりました。資料も充実しているので今後に生かしたいと思います。
・先生の話は、分かりやすくおもしろかったです。実務で実践したいと思います。

◆セミナーお申込要領

- ・弊社ホームページの申込欄又は、E-mailかFAXにてお申し込みください。
- ・受付後、受講票・請求書等をメールで送信します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

◆申込書：2026年3月2日セミナー

会社名： 受講形式：会場/WEB ※○で囲んでください
住所： 部署名：
TEL： FAX：
氏名：
Email：

◆申込先

株式会社TH企画



TH企画セミナーセンター



〒108-0014 東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル5F

TEL: 03-6435-1138

FAX: 03-6435-3685

Email: th@thplan.com

URL: <https://www.thplan.com/>

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

検索

TH企画



サイト内
キーワード検索

0302
(開催日)